

(様式)

第 2 回かわにし市民会議 議事メモ

班	4 班「文化・歴史の活かし方」
コーディネーター	伊藤 伸
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	教育推進部 中西副部長、市民環境部 阪上副部長
日時	2019 年 7 月 6 日(土) 13 時 00 分から 16 時 00 分
場所	市役所地下 1 階 B02 会議室
その他	参加者数 18 名

趣旨・概要

テーマ共通の現状及び課題の共有
市内の文化財について
市内の文化・歴史に関するイベントについて

総括

班発表者総括

4 班は文化と歴史の面で川西をどう活性化させていくかという話を進めている。本日は主に 2 つのテーマで、1 つは、川西市の文化財について、もう 1 つは川西市の住みやすさを議論した。文化財のパートでは、特に多田神社、加茂遺跡、三ツ矢サイダー記念館という 3 つを議論し、それぞれ知っているが、説明できない、活用できていないという点が課題であるという結論となった。

川西市の住みやすさのパートでは、参加者の 9 割が住みやすいと回答し、中にはずっとここでいいという人もいた。次回は、この住みやすさをどう発展させていくか、どう文化を活用するのかについて議論する。

コーディネーター総括

川西市では、101 点の文化財が指定・登録されているが、知ってはいるがうまく活用できていない現状があった。今後は、文化財をどう活用していくのか、また、文化の活用は、誰をターゲットにするのが重要だと考える。自分や自分の身の周りの人たちが、文化財にどうやったら関心を持つのか考えていく。また、知人が川西市に来るとき、ここにつれていきたいと思うかを次回、議論していきたい。

協議の流れ

1 第 1 回市民会議振り返り

前回の自己紹介を聞く限りでは、この班には、歴史のことをよく知っている方はいなかった。この班のテーマが文化歴史の活かし方であるので、本日は、文化歴史の現状、主にどんな文化財があるか、どのように活用しているかを共有したうえで、議論をしていきたいと思う。その説明については、教育推進部中西副部長から「市内の文化財について」を、市民環境部の阪上副部長から「市内の文化歴史に関わるイベントについて」を
参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

説明いただく。

2 市内の文化財について(教育推進部中西副部長より説明)

・文化財の区分

指定文化財 登録文化財、国 県 市の順で貴重・重要なものが位置づけられている。
貴重・重要なものほど厳しい制限があるが、補助金等の支援が手厚い。

・川西市の指定・登録文化財

市全体で 101 点の文化財が指定・登録されている。

・文化財保護の取り組み

埋蔵文化財・遺跡の発掘調査、指定登録の手続き、保全を行う。

・文化財の保全から活用へ

重要・貴重なものを保全することが目的であるが、今後は、活用についても力を入れていきたいと考えている。文化財の活用を進めていく上では、所有者、管理者、ボランティア等の協力が必要となる。現在、ボランティアとしては文化財ボランティアガイドの会、加茂遺跡クラブのボランティアの 2 団体に協力をいただいている。

<活用の取り組み(一例)>

ホームページ・広報誌での紹介、文化財を巡るハイキング・スタンプラリーの実施、発掘調査の現地説明会、文化財資料館や郷土館でのイベント、夏休みに行う子ども向け講座の実施

・今後について

文化財の調査で歴史の解明を行い、発見された文化財は大切に保存し、多くの方に親しまれるように活用していきたいと考えている。

多田銀銅山の PR について

参) 多田銀銅山について、新名神高速道路付近に看板が設置されているが、実際の所在地がどこかわからない。案内板が小さすぎるし、もっと PR してはどうか。

市) 前提として、案内板がすべての文化財に設置されているものではない。文化財により内部に入れるものは限られるが、入れるところは PR していきたい。

多田神社・源氏について

コ) 多田神社について、源氏ゆかりの場所で、全国的にも由緒ある神社であるということは市民の皆さんは知っているのか。それとも地元の神社という認識か。

参) 地元の神社という程度の認識で、初詣に行くくらい。市外の人が来ているイメージもあまりない。

参) プロスポーツ選手などが、多田神社が戦いの神様ということで必勝祈願に来ている。

参) 中学校でも授業あり、多田神社などを知らない人はいないと思う。ただ、そういった授業があっても、うまくつながっていないので、忘れてしまっていると思う。

コ) 多田神社は、市民の方にとっては、あくまで地元の神社という位置づけ、一方で、歴

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

史好きな人にとっては、特別な場所であったりして、市民とギャップがあると感じた。

三ツ矢サイダーを活用した PR について

参) アサヒ飲料の三ツ矢サイダーの三ツ矢も源氏の伝説として川西市にゆかりがある。

文化財や歴史の背景・伝説をもっと市の PR に活用してはどうか。

コ) エピソードは伝説かもしれないが、その歴史や伝説をどう活用するかを考えてもいいと思う。

参) PR には、全国的な知名度がある三ツ矢サイダーも活用できると思うが、市登録文化財である三ツ矢サイダー記念館が、年々老朽化しており、周りに草木が茂っている状態になっている。きれいに整備して何か活用できないか。

コ) 活用していくことが課題。多田神社の歴史的重要性、三ツ矢サイダー記念館の活用。文化の活用は誰をターゲットにするのか。まずは市民が知ることが大切。

活用方法について

参) 歴史と産業をうまく組み合わせれば、もっと売り出せるのではないか。(例えば、アサヒ飲料とのタグ等)

参) 文化財や歴史はいいものがあるが、「人を呼ぶ術」がないのが問題だと思う。

3 川西市の住みやすさについて(市民間の意見交換)

実際住んでいて感じる住みやすさ、住みにくさについて

参) <住みやすい>

- ・市内のスーパーは安い。
- ・南部には JR、阪急電鉄、阪急バスがあり、交通の利便性が良い。
- ・グリーンハイツは緑豊かで良い。
- ・市内で生活の全てが完結するので、住み心地がよい。
- ・大阪(梅田)や神戸まで 30 分程度でいけて便利

<住みにくい>

- ・渋滞が多い。
- ・多田神社、満願寺などの観光地は駐車場が少ない。
- ・道が狭い。
- ・川西能勢口付近は利便性が良いが、北部は能勢電鉄の料金が低い。
- ・大きな公園がない。
- ・若者の遊び場が少ない。
- ・川西にも図書館があるが使いにくい。使うなら猪名川町の図書館になる。
- ・企業がない。
- ・宿泊できるホテルがない。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

コ) 交通や買い物の利便性等の意見について、市の南部と北部で温度差があった。(南部の方が比較的良いという意見が多かった)渋滞をなくす、道を広げるといったことでさらに住みやすくなるという意見もあった。このような意見と文化をどう絡めていくかが、次回以降の議題としていきたいと思います。

4 川西市の文化・歴史に関するイベントについて(市民環境部阪上副部長が説明)

- ・文化・歴史に関する主なイベントを説明した。
- ・源氏まつり：源氏にちなんだ懐古行列で練り歩く。今年で 55 回目。例年 3 万人来場し、多田神社で実施している。
- ・猪名川花火大会：71 回目、川西市だけの動員数 6 万 7 千人、池田市と併せると、13 万人強、北摂地域で大きな花火大会となっている。
- ・東谷ズム：山下町の郷土館で実施。地元の実行委員会が中心となっている。
- ・川西おもろ能：27 回開催していて、昨年は 600 人の参加。けやき坂の中央公園にある石組みされた舞台で能を演舞している。
- ・その他、文化系統のイベントで芸術祭、川西市展、みつなかオペラがある。

源氏まつりについて

参) 以前のルートの方が桜並木もあり幻想的でよかった。

市) 警備の問題や参加者の負担を考えた結果、現在は、ルートを短くしている。桜については、近年、温暖化の影響で桜の開花時期が早くなってきている。

参) 南部、中部、北部と住んでいる地域の行事しか行かない。懐古行列の行進者についても多田の地域周辺の方ばかり選ばれている。これでは、地域の方しか行かない。

コ) 源氏まつりの目的は、文化を広めるためか、人を呼び込むためなのかどっち。

市) 両方である。また、市民にも外部にも広めたい。

参) 源氏まつりがあること知らなかった。引っ越しした人に、行事のお知らせ等をメールとかで情報発信してもらいたい。(希望者のみ)リーフレットはなかなか手が伸びない。

参) 市の行事として、地域だけでなく広い範囲の祭りにはどうか。多田神社付近の道が狭く、困っている。

参) 懐古行列の行進者について、一般市民は参加できるのか。

市) 一般募集出演者枠を設けているので参加できる。一般募集は、市内外問わず公募している。

参) 一般市民の公募枠が少ないと思う。参加枠が少ないから地域のイベントというイメージ。

コ) 主催する立場は、市全体の祭りとして行っているけども、参加する立場からすると地域のイベントに感じてしまうというギャップはあるのかなと思う。

参)：市民参加者、コ)：コーディネーター、ナ)：ナビゲーター、市)：説明担当者

(様式)

市) 地域の祭りになっていて、市全体の祭りになっていないという意見はこれまでもいただいている。源氏まつりの午前中はアステ川西のびいぼう広場で催しものを行うなど、盛り上げようと新たな取り組みを実施しているが、他の地域の方が行くかと言われたら、まだまだそうは成りえていないので、今後も活性化を目指して取り組んでいく。

加茂遺跡の PR について

参) 加茂遺跡スタンプラリーの認知度が低い。源氏まつりより、加茂遺跡を PR したい。人が集まりやすいキセラ川西で、パネル展示等ができないか。

市) 加茂遺跡スタンプラリーは、川西市教育委員会が主催となっており、共催として、川西市文化財ボランティアガイドの会、加茂小学校区コミュニティ推進協議会が行っている。

コ) 次回、議論していきましょう。

その他イベントについて

参) 清和源氏ならではのイベントもあっていいのではないか。

5 その他について

水道料金について

参) 川西市の水道は県の企業団だと思う。宝塚市のように阪神水道企業団に切り替えたら安くなると思うので要望します。

コ) 水道料金は自治体によって異なるが、同じ市の中で、水道料金が異なることはない。最近では、所有権は市が持ったまま、供給は民間企業に任せてもよいという仕組みになっている。

参) 水道料金の支払い方法は、口座振替は可能か。以前、クレジットカードでの支払いは不可で振り込み用紙を送付されたことがあるが、対応方法について考え方を考えてほしい。また、水道料金は、尼崎市ぐらいまで下げて欲しい。

地価について

参) 地価平均について、池田市が伊丹市より高い理由は、大阪に近いほど高いというイメージがある。

市) 次回、回答します。

参) 先日のニュースで、川西市の地価の伸びが4位に入っていた。芦屋と伊丹に次ぐ川西市となっていたので期待できると思う。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

